

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 18-045)

1 世界銀行グループが、フィジーのスバに事務所（南太平洋のフィジー、ナウル、キリバス、サモア、トンガ、ツバルを管轄）を開設

[原文](#)

(18 March 2019, World Bank)

2 ロシアが、パラオに全地球航法衛星システム（GLOSNAASS）基地の建設を提案

[原文](#)

(19 March 2019, Island Times)

※以下のIsland Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。
その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

3 パラオは、同国で 2020 年に開催する Our Ocean の安全対策支援をアメリカ政府に依頼

[原文](#)

(19 March 2019, Island Times)

4 パラオへの中国人訪問者数が 2019 年 1 月から 2 月にかけて 2 倍に増加（2083 人から 4070 人に増加）。ただし、2 月のパラオへの総訪問者数は 9775 名であり、昨年同月（12418 名）よりも減少。

[原文](#)

(19 March 2019, Island Times)

5 パラオが、ナウル協定（ミクロネシア、キリバス、マーシャル、ナウル、パラオ、パプアニューギニア、ソロモン、ツバル、トケラウが加盟）の議長国に就任

[原文](#)

(19 March 2019, Island Times)

6 「パラオの上院議員が「2020 年からのパラオ国家海洋保護法（PNMS）の施行に伴い、同国 EEZ における外国漁船の操業が不可能になることによって、ナウル協定の Vessel day scheme（外国漁船への操業日数を定める方式）からの収入が減少する」と誤った説明をしている」として、パラオの天然資源・環境・観光相が反論（国家海洋保護法施行後も、Vessel day scheme からの収入

は継続すると説明)

[原文](#)

(19 March 2019, Island Times)

7 インドネシアが南太平洋島嶼国 15 か国を招聘し、海上経済とそのつながりを議題にフォーラムを初開催

[原文](#)

(21 March 2019, Antara)

8 ソロモン諸島国政選挙の結果により、同国の台湾との関係の見直しが起きる可能性

[原文](#)

(21 March 2019, Channel NewsAsia)

9 台湾の外務副大臣は、ソロモン諸島との同盟関係の見直しの可能性にもかかわらず、同国との関係は強固であると発言

[原文](#)

(22 March 2019, Radio NZ)

10 台湾総統はナウルを訪問し、両国の海上パトロール協力協定（台湾海岸巡防署の巡視船による船舶検査等）に署名

[原文](#)

(25 March 2019, Radio NZ)

[原文](#)

(25 March 2019, Focus Taiwan)

11 ナウル国会は、台湾に対する中国の主張（一国二制度）を拒否し、台湾を主権のある独立国家として承認し、他国への軍事的脅迫を拒否する決議を可決

[原文](#)

(26 March 2019, Radio NZ)

12 台湾総統が、マーシャル諸島を訪問し、マーシャル諸島女性起業家のための基金設置に合意（台湾とマーシャル諸島がそれぞれ 100 万 US ドルを拠出）

[原文](#)

(26 March 2019, Focus Taiwan)

[原文](#)

(27 March 2019, Radio NZ)